

議会だより

第18号

平成26年10月25日発行

見上げる先は
ぼくらの未来!!



- 西小について臨時会開催 15
- どう生かされた私たちのお金 2
- 定住促進に予算 5
- 9人が町の課題を問う 6
- 夢に向かって 16

富士川町議会

検索

山梨県富士川町議会

79億2713万円

認定

生かされた!!

まで20日間の会期で開催しました



土木費

9万4065円

(15億2028万円)

建物の建設や維持管理、
道水路整備、大型設備の
購入など

民生費

12万3489円

(19億9582万円)

社会福祉、高齢者、障が
い者、児童福祉費、保育
所運営費など



教育費

4万5549円

(7億3616万円)

学校教育費、生涯学習費、
社会教育費など

消防費

2万1778円

(3億5197万円)

防災費、消防団費

町民1人あたり
約49万円負担
前年より5万円増!

人口減少と
道の駅「富士川」の
建設の影響



衛生費

4万6627円

(7億5359万円)

保健衛生費、国保・介護
保険などへの繰出



公債費

5万8615円

(9億4733万円)

借金の返済(元金、利子)

総務費

5万9028円

(9億5402万円)

職員の給与、町長、議員お
よび各種委員などの報酬、
文化ホール運営費など

農林水産業費

1万5228円

(2億4612万円)

農業費、林業費、国土調
査費

その他

2万6100円

(4億2184万円)

議会費、商工費など

基金(貯金)

(土地開発基金を含む)

町民1人当たり 24万円

(町全体38億4190万円)

地方債(借金)

町民1人当たり 49万円

(町全体79億5485万円)

()内は平成25年度決算額
一人あたりの額はH26.4.1現在
人口16,162人で割った額

25年度一般会計

町づくりにどう

9月定例議会を9月5日から24日



慎重に審査を行う分科会

決算特別委員会

レポート

全体会

今定例議会で決算特別委員会を設置し、去る9月5日の本会議で当委員会に付託された議案を、9月10日、11日、12日、16日に分科会、19日に全体会を開き、慎重な審査を行いました。

問 国民健康保険特別会計の現年度滞納額が多いが、その理由は
答 主な要因は、年度末の修正申告により課税額が増えた人や、年度途中で会社退職により国保へ加入した人が多かった。

町への意見

町税をはじめとする歳入全般について、滞納者の内容の分析を的確に行い、滞納の減少に努めるよう申し入れた。

総務分科会

【財政課】

問 コピー機・印刷機使用料の収入は。
答 関係諸団体の使用料で、金額はコピー機・印刷機、サイズや白黒・カラー印刷など別に決まっている。

問 過疎集落等自立再生緊急対策事業とは。
答 国の補助事業で中部区が採択された。中部区では再生景観づくり、交流の場づくり、新たな特産品づくりなどを計画し取り組んでいる。

問 LED灯への取り替えは計画的に行っていくのか。
答 25年度は30カ所取り替えた。各区からの要望で、予算の範囲内で順次取り替えていく。

問 コンビニ収納が導入され、事務の効率化は図られたか。
答 収納処理がデータ交換で済むようになり事務効率が上がった。また、納付書を郵便局でも対応しており、納税者の利便性も図られた。

問 負担金の統合パッケージとは。
答 マイナンバー制の導入に対応するためのシステムで、各業務間で情報共有が可能な統合型パッケージにすることにより、事務の効率化を図る。



新たな特産品づくりに取り組む中部区

問 【防災課】
消火栓設置費の設置し

た場所は。
答 区の要望により、天神中條へ立ち上げ式を3カ所設置した。



元気の源“いきいき筋力教室”(鯉沢福祉センター)

【子育て支援課】

問 「子ども子育て支援事業計画」策定にかかるニーズ調査はどのように実施したか。

答 町内の小学5年生までの保護者を対象にアンケート調査を実施した。分析結果を来年度に反映させる。

【福祉保健課】

問 「いきいき筋力教室」の現状と地域の関わりは。

答 地区ごとに高齢者を対象に24会場で実施している。また、介護予防サポートリーダーを養成し、地域で自主的に実施できるように進めており、一部地域ではすでに活発に開催されている。

【町民生活課】

問 コンビニ交付の住民票、印鑑証明書発行数は。

答 住民票が500件、印鑑証明書が432件。

問 鯉沢サービスセンターで発行した証明書の件数は。

答 住民票729件、印鑑証明書749件、戸籍謄本など762件。

問 保険給付費が増えているが、医療費抑制に向けた取り組みは。

答 特定健診受診率アップの広報活動、ジェネリック医薬品の普及に努めている。また、福祉保健課と連携して町民の健康増進に努めていく。

問 疾病分類受診状況で、統合失調症の増加傾向が見られる。対策は講じているのか。

答 相談窓口は実施しているが、関係機関とも連携して対応できるように検討していく。

【上下水道課】

問 簡易水道の石綿セメント管、布設替詳細設計業務の範囲は。

答 鯉沢警察署から東へ向かう道路内と、新田地区への支線を含め200m。残りは約560mある。

【農林振興課】

問 有害鳥獣駆除報償の内容は。

答 1匹(頭)あたり、サル25、000円、イノシシとシカは各15、000円。町の猟友会が駆除を行っているが、年々高齢化し会員不足が心配される。

問 橋梁長寿命化修繕計画で、どのくらい橋を直し、費用はいくらか。

【建設課】

答 町管理の151橋全てで何らかの修繕が必要。通常の維持管理で修繕が可能なものが約半分。耐震基準を満たしていないのが41橋。防護柵がない橋など優先順位を付けて直していく。架け替え前に適正に修繕し、橋の延命措置を講じることで、経費削減を図れるよう計画している。

【商工観光課】

問 青柳宿活性館耐震診断の結果は。



田畑を荒らすイノシシ

果は。

答 木造建築の耐震診断と、補強方法による指標が0.7以上なければならぬが、0.07という結果であり、非常に危険との報告を受けている。

問 かじかの湯は大幅な赤字となっているが、どのような指導を行っているか。

答 指定管理の協定上、町は経営の改善勧告を行うことができるとなっており、営業時間の見直しなどについて改善勧告を行った。

＝一般会計補正予算＝

1億458万円増の総額74億6073万円となる

人口増・定住化促進 防災対策を強化！

おもな補正予算

防災用送信局設置費	戸別受信機設置のため	7277万円
空き家改修・中山間地域住宅用地取得補助金	人口増・定住化促進のため	200万円
鯉沢福祉センター改修費	バリアフリー化など	1525万円
十谷生活改善センター耐震補強工事費		634万円
社会保障・税番号制導入データ化業務費		335万円
産科セミ・オープンシステム負担金	峡南医療センターに設置	823万円
消防第3分団詰所設計・用地取得費	移転・建替えのため	913万円
景観計画策定業務費		103万円

問 景観計画策定業務103万円の内訳は。
答 審議会や住民への説明資料作成と計画を具体的に推進するための区域図や条例の作成・概要版の製本費である。今後一年間かけて行うため債務負担とした。

予算質疑

問 中山間地住宅用地取得補助200万円の内容は。

答 中山間地への定住促進を目的に補助するもので、1件100万円、2件分を計上した。

問 社会保障税番号制導入データ化のメリットは。

答 導入に向け準備している。来年度実施予定である。これが実施されると各種申請書類への所得証明添付が不要となる。



老朽化により移転が予定されている第3分団詰所（長澤地内）

㈱富士川26年度予算見通し

年間客数予測(3施設):354,000人

売上	3億3200万円
売上原価	2億600万円
売上総利益	1億2600万円
経費(人件費込)	1億1700万円
営業利益	900万円
営業外収益	1100万円
営業外費用	200万円
税引後利益	1170万円

㈱富士川の経営状況に関する報告

問 予算の根拠となる経費の明細や、売り上げの内訳などの付帯資料はあるのか。
答 会社からは付帯資料を含め報告を受けている。会社全体で黒字を目標とし設定している。道の駅は実績がないため、客数を見込んで客単価を設定、塩の華などの季節変動率を加味し売上高を計上した。塩の華は昨年実績比70%で見込んで

条例制定

子ども・子育てに関する条例4件を制定

〔要旨〕子ども・子育て支援法では町が実施主体となり、保育を必要とする子どものために、多様な生活スタイルに対応できるよう条件の緩和、施設運営・管理について、きめ細かく新たに定めた。

請願2件を採択

手話言語法の早期制定を求める請願
〔内容〕音声の聞こえない子どもが手話を身につけ手話で学べ、広く手話を言語として普及させる環境整備を求めるもの。

30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度の拡充を求める請願
国の関係機関に意見書を
送付

人権擁護委員を再任

長澤 賢氏(天神中條)

一般質問

まちの課題を問う

問 保育所の民営化は

答 多くの理解を得られれば
検討に入る



長沢けん 議員

問 保育所の特色、魅力、園児を増やす政策は。

子育て支援課長 昨年度より、0歳児保育を始めた。一時預かり事業も全保育所に対応し入所につなげている。

問 保育所の民営化について町の考えは。

町長 大勢の皆さんのご理解を得れば、より深い検討に入っていきたい。

女性の雇用促進は

問 女性の働く場所の確保を役場が手本を示すべきだ。正職員の女性の雇用を増やす考えはあるか。

総務課長 定員管理適正化計画をもとに、男女を問わず必要な職員を採用する。

問 女性を雇用した民間企業への優遇措置の考えは。

商工観光課長 国の新たな認定制度をもとに、取り組みを検討していく。

問 幅広い保育が求められているが、保育士を増やす考えがあるか。

子育て支援課長 利用者の

ニーズを把握し、適正な保育士の配置を行う。

問 全保育所で延長保育の対応はできないか。

子育て支援課長 新たな需要が見込まれる場合は、全保育所に対応したい。

雪害の検証は

問 町民一体となって、除雪に取り組み啓発活動を推進すべきだが。

建設課長 防災無線で、除雪に対する協力を促していきたい。

問 雪害体験やボランティア活動として、生徒の雪かきの積極的参加を望みたい。町の考えは。



大雪の経験を活かした雪害対応を

教育長 生徒の安全面を十二分に考慮し、地域や保護者と連携するなかで取り組む。

問 他町との情報の共有、町民、ドライバーへの状況発信の手法は。

町長 道の駅に、県下の幹線道路の交通状況をパネルで表示できるよう、国土交通省と県へ要望している。

問 除雪道路の優先順位は。

建設課長 国道、県道へ通じる幹線道路、デマンドバスなどの公共交通路線、通学路、その他生活関連道路の順で除雪を行う。

問 空地、休耕地等の所有者と、雪置き場登録を結び早期除雪処理にもつながると思うが。

建設課長 区長会を通じ、各地区の協力を得ながら、排雪場の確保に向けた調査を進める。

問 富士川町雪害マニュアルの作成は。

防災課長 今回の大雪の状況と町の対応結果を総括した上で、雪害対応をマニュアル化していく。

問 鯉沢中部小学校跡地の活用計画は

答 地域と協議し幅広い活用法を検討

深澤 公雄 議員



問 鯉沢中部小学校が閉校となり半年が過ぎた。校庭に雑草が目立ち始めたので、地元有志で草取りをした。住民の多くも中部小のことを気にかけている。全国的に廃校は増え、当町でも五開小学校がまだ廃校のままになっている。廃校利用は大きな課題である。

中部小学校校舎は耐震化もしており申し分ない建物だ。また敷地内にはプールもある。現時点で中部小学校跡地の活用計画はあるのか。

教育総務課長 体育館、プールなどは社会体育施設として貸し出している。校舎

部分は地域とも十分協議し、民間活用も含め幅広い有効活用を検討していく。

図書館整備に関する町長の考えは

問 町長の2期目の就任あいさつの中に、図書館など生涯学習機能の整備があった。子どもからお年寄りまでの幅広い人たちが利用できる施設として、図書館は町内に必要だ。図書館も今は多様化しており、複合型施設として運営している所もある。公営施設は使われてこそ意味がある。運営形態も含めて考えなければ、維持費ばかりがかかることになる。図書館の整備に関し町長の考えを伺う。

町長 図書館は、年代を問わず住民が情報を入手し、学習の場としてだけでなく、地域コミュニティの役割を果たすなど、住民にとって欠く事のできない施設である。町民の皆さまから図書館を望む声はあり、新たな図書館整備の必要性は

十分認識している。現在、公共施設再配置検討委員会で、図書館の整備についても検討していただいている。

問 中部小学校校舎を利用した図書館は考えられないか。国でも一極集中の是正を考えている。地方でも町全体のバランスも考えなければならぬ。地方の中心に施設が集中することは避けるべきである。



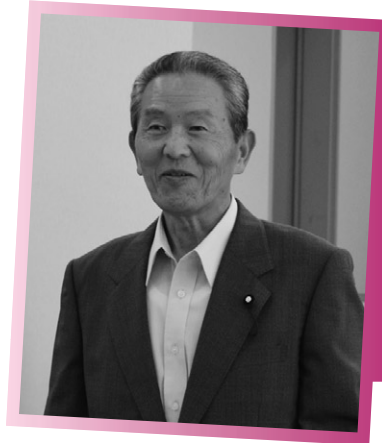
廃校となっても愛着のある校庭の草取りに取り組む有志（中部小）

図書館の配置を考える中、中部小学校校舎もひとつの可能性として、公共施設再配置検討委員会で検討できないか。

町長 中部小学校跡地の活用策が定まっていけないので、対象施設の一つと考えられる。しかし、多くの町民が利用する施設としては、立地条件、駐車スペースなど勘案すると候補地として難しいと考える。

問 特定健診の現状と受診率向上の具体策は

答 目標設定し継続支援していく



秋山 勇 議員

問 特定健診の受診の現状受診率向上への具体的な対策を伺う。

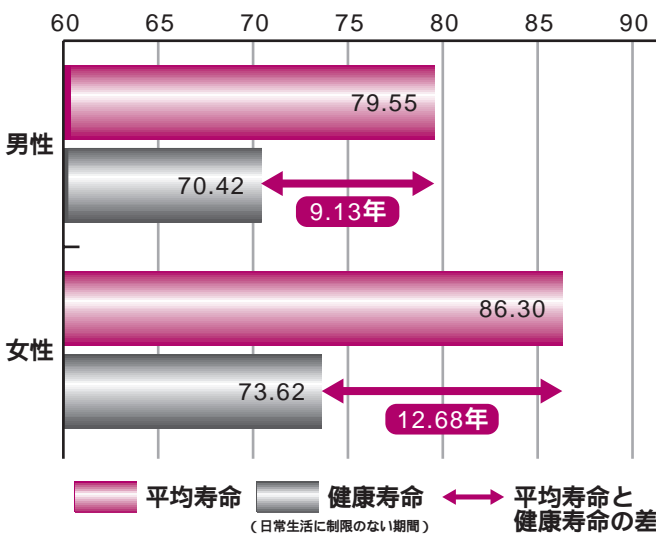
町民生活課長 「富士川町国民健康保険特定健康審査等実施計画」に基づき、40歳から74歳の方を対象に、生活習慣病の発症や重症化を予防するため、特定健診を実施している。

平成24年度の特定健診受診率は、対象者3,012人に対し、受診者は1,601人で53.2%。受診率向上対策として健診申込書送付時に、特定健診啓発チラシを同封している。

問 特定保健指導対象者の現状と、今後の指導方法について伺う。

福祉保健課長 特定健康指導対象者は国の示す基準に基づき、腹囲または肥満度を第1の選定基準として、高血糖・高血圧・脂質異常のリスク数により「情報提供」と、保健指導が必要な「動機付け支援」「積極的支援」の3つのレベルに分けられる。平成24年度は、特定健診受診者1,601人中、情報

平均寿命と健康寿命の差



提供対象者は1,458人、動機付け支援対象者は107人、積極的支援対象者は36人である。具体的には町の保健師が初回面接で健診の結果説明を行い、肥満や高血糖・高血圧・高脂血症を予防する生活習慣改善の目標設定の支援を行い、6カ月後に評価をしている。また、積極的支援対象者には、動機付け支援と同様、目標設定の支援を行い、より生活改善の行動が継続できる

よう、定期的な支援を行っている。

問 医療費の現状と今後の医療費抑制策は。

町民生活課長 本町の医療費は年々増加傾向にあり、平成25年度は約11億4,000万円となっている。平成24年度と比較し9、100万円増、約9%増となっており、非常に高い伸び率となっている。医療費抑制対策は、調剤費にかかる費用が約2億円、ジェネリック薬品（後発医薬品）を使用した場合の差額通知を送付し、普及に努めている。

問 住民の健康寿命を延ばすには、住民が運動しやすい町づくり、環境整備に取り組むことであるが、町の考えを伺う。

福祉保健課長 町ではウォーキングやボデイメイク教室、筋力向上教室を開催し、「町民皆スポーツ活動の推進」を提唱し、住民が運動しやすい環境整備に努めていきたい。

問 河川敷の町民交流広場は慎重に

答 水がつかない間は町民広場として活用

秋山 貢 議員



問 現在、かわまちづくり事業で、町民交流広場の施設整備の詳細設計業務を進めている。駐車場、400mトラック、サッカー場などが計画されている。リニアのルート上にある利根川公園スポーツ広場の代替施設の機能も持つのか。

建設課長 富士川右岸の富士川大橋から富士橋までの河川空間は、25年3月に「富士川右岸まちづくり基本方針整備構想」を策定した。この構想の基本方針は、町民の保健環境を支える交流の場、イベントやスポーツなどによる交流の場、防災

拠点の3つの観点から、水辺の形成を図ることができ、町民交流広場は、利根川公園スポーツ広場の代替施設として利用できる。しかし、河川敷地内であり管理上の制約を受け、照明設備の設置ができず、夜間の使用が制限される。

問 夜間も使えるスポーツ公園を、町民交流広場のほかにも新設するのか。

建設課長 利根川スポーツ公園は、公共施設再配置計画の中で協議していただきたいと考えている。

問 6月定例会の産業建設常任委員会報告で、慎重を期すことを要望した。その検討内容は。

建設課長 多くの皆さまに利用していただける施設となるよう、区長会やスポーツ関係団体などによる「富士川町民交流広場整備検討委員会」を設立し、提言をいただき詳細設計に反映したいと考えている。

問 ハザードマップでは、富士川病院の周辺の浸水は



町民交流広場建設予定地(富士川河川敷)

2mから5m未満の区域と表示されている。こういう地域の河川敷に造ることは、もう一度慎重に考えるべきでは。

町長 国土交通省でつくる低水護岸は、一般の水害くらいでは水がつかないと考える。土地は河川敷なので無償である。富士川は青柳地区で決壊することはない

と考える。中州整備と河川敷の活用を国土交通省と一体的に行う。今後水がつかもれないが、数年に1回か、数十年に1回ではないか。つかない間は町民広場として活用したい。「他の質問事項」
防災情報伝達システムについて

問 増穂西小統廃合の考えは

答 現状のままでは来年統合する

斉藤 欽也 議員



問 教育委員会は一昨年から昨年、学校規模適正化を検討し、西小は増穂小への統合が望ましいとの答申を出した。しかし、議員の中から存続を望む声が多く出され、町長は条件付きで1年間の存続を認めた。

私は一対一的な教育になっている西小の教育環境は、好ましいものではないと考えている。来年のことを考えると10月には結論を出すべきだが、町長の考えは。

町長 西小の統合は昨年、教育委員会の学校規模適正化基本方針を受け、地域や

議会との議論を踏まえ、現状の児童数で推移した場合閉校の時期を26年度末とした。今のところ通学区内は新たな転入児童がない状況で、今月末もこの状況が続くようであれば、教育委員会の示した方針に沿って進めたいと考えている。

問 学校教育を充実させることは、町の発展にとって必要なことだ。西小を閉校するときには、これまで西小にかけていた教育費を増穂小・鯉沢小の教育充実のために使うべきと考えるが、町の考えは。

教育長 教育委員会は、クラス替えのできる増穂小、25人編成の鯉沢小、過小規模校ではあるが、少人数教育を希望する人のための南



統廃合が検討された増穂西小学校

第二保育所園児の避難路確保は

問 防災訓練で中央市は、田富北小のポートによる避難訓練を行った。本町の第二保育所は防災マップで、2mの水がつく洪水避難地域に指定されている。足腰の弱い園児の速やかな移動を行えるよう、避難道路の確保が必要と考えるが、町の考えは。

建設課長 第二保育所は浸水想定区域で、大雨予想時は早い段階で保護者に園児の引渡しを実施している。しかし、周辺の道路は道幅が狭いため車のすれ違いが困難な状況。地元と協議する中で検討していきたい。

問 地域包括ケアシステムの構築は

答 地域の実情に応じた体制を進める

小林有紀子 議員



問 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、地域包括ケアシステムの構築について伺う。

福祉保健課長 医療と介護の連携、認知症施策、生活支援サービスなど地域の実情に応じた包括的な支援、サービス提供に取り組む。

問 現在の本町の高齢者人口比率、要支援1、2の方の人数は。

福祉保健課長 4月1日現在4,921人。高齢化率30・4%。要支援1、2の合計は130人。

問 認知症初期集中支援チームを設置する考えは。

福祉保健課長 早期診断、早期治療で進行を遅らせ、悪化予防に努めることが重要。

複数の専門職、保健師、看護師、作業療法士など専門医が必要。峡南地区での共同実施を検討中。

問 峡南医療センターと連携した設置の対応は。

町長 そちらも対応しながら、地域でしっかりと守っていく体制を考えている。

問 通所型予防サービスと配食、見守り、安否確認などの生活支援サービスを行う「介護予防・日常生活支援総合事業」の状況は。

福祉保健課長 既存の福祉サービスに加え、民間事業所の持つ専門性を生かしたサービスやいきいきサロン、ボランティアで実施するサービスを検討し、整備を進めていく。

問 認知症の人と家族が集う認知症カフェや、地域住民が集うコミュニケーションカフェの設置の考えは。

福祉保健課長 認知症の人や家族は地域の支え合いが



みんなで歌って楽しく『生涯青春』

必要。地域の方々が気軽に集い、お互いに交流できる場として、地域のつながりの再構築の場として期待できる。

空き家バンク 利用と一部助成を

問 空き家数と空き家バンクの利用状況は。

企画課長 空き家総数193戸、青柳町区が最も多く43戸。物件の登録数は12件、利用希望者の登録数は39人。これまでの売買、賃貸契約成立が各1件、現

在交渉中が2件。

問 空き家撤去に必要な解体一部助成、地域施設活用に改修する場合の工事費用補助は。

企画課長 定住のための空き家の改修補助は実施していききたい。地域で必要な施設として活用する場合は地域コミュニケーション施設整備費貸付制度を活用いただきたい。

問 空き家の適正な管理に対する条例の制定は。

防災課長 今後の検討課題である。



放置されたままの空き家

問 特色ある富士川教育を

答 学校ごとに力を入れている

青柳 光仁 議員



問 教育制度改革についてこの4年間で力を入れてきた富士川町教育について伺う。
教育委員長 地域との関わりを積極的に取り入れた、学校ごとに特色のある教育に力を入れてきた。
問 教育委員会制度改革案に対し、町長の所感は。
町長 教育の政治的中立性・継続性を確保し、町と教育委員会が一体に、新制度改革に向け準備する。
問 教育長の所感を伺う。
教育長 教育行政の新体制へ移行が円滑に行えるよう準備を進めていく。

問 当町の教育長、教育委員長の権限と責任は明確になっているか。
教育長 権限と責任は明確にされている。

学校図書室・児童センターの活用は

問 子どもの育成に大事な図書購入予算を増額する考えはあるか。
教育長 昨年と同様だが、学校司書と連携し、図書の充実に努める。



図書室の充実を(増穂小学校図書室)

問 図書室の一般開放は考えられるか。
教育長 校舎の管理、施設整備や改築も必要で、一般開放する考えはない。

問 放課後児童教室で、定期的に読み聞かせや英語教育など、有識者ボランティアの活用は。
子育て支援課長 読み聞かせの会は発足した。夏休みなどに英語、将棋、工作などをを行い、さらに充実させたい。

かわまちづくり推進は

問 計画されている町民交流広場の利用予測や、水辺公園との整合性は。
建設課長 交流イベントやスポーツ交流の場、防災拠点として計画する。

問 河川敷内のトイレ、水道の設置、日除け等の計画は。
建設課長 河川敷内のため、国土交通省と協議し関係法令に沿い進める。今後、町民交流広場整備検討委員会等で検討する。

問 検討委員会は設立されているか。
建設課長 庁内検討会は設置。整備検討委員会はまだ設置してない。

問 具体的に検討されていないので、取り止めも有り得るか。
町長 護岸が侵食されている。

国土省が護岸を造り、その土手側を町が再利用する計画。国交省や町民の代表の整備検討委員会と協議する。

問 この道路の地元要望はあったのか

答 あったと考えている

堀内春美 議員



問 6月議会で天神中條20号線の必要性について質問した。地域から要望があった道路との答弁だが、地域の人たちは知らないとの声が多かった。どのような経緯でこの道路を造ることになったのか。

建設課長 平成20年11月に天神中條区役員から、歩道つきの道路を整備し、安全な通学を図れるよう新設道路の要望書をいただいている。本年5月に天神中條区役員に事業の概要説明を行い、事業推進に向けて賛同を得たところである。

問 住民への説明会はしたのか。

建設課長 していない。

問 地域の人たちから、この道路のことは知らないという声が多かった。アンケートをとって見た。その結果、この道路のことを知っていたか？の設問に、地元の天神中條・最勝寺で回答126件中、知っているのは14件、そのうち、必要と答えたのは6件、必要な

いは8件。全体300件では、必要ないが96・6%・290件である。注目すべきは、道路予定地の周辺、隣近所が知らなかったこと、必要ないと言っていること。苦情もいろいろある。どう思うのか。

町長 平成20年、天神中條の区長と土木委員長から要望をいただいているので、この道路の建設は進めたい。町も必要と考えている。

独自調査のアンケート結果

地区	道路ができることを		この道路は必要かどうか	
天神中條	知っていた	12人	必要	4人
	知らない	49人	必要でない	57人
最勝寺	知っていた	2人	必要	2人
	知らない	63人	必要でない	63人
青柳	知っていた	12人	必要	4人
	知らない	162人	必要でない	170人

アンケートは29人の方々が協力し、集めていただいた。調査範囲は天神中條20号線（天神中條・最勝寺・青柳地区）を中心に行った。

高齢者の孤独死は

問 最近、富士川町で一人暮らし高齢者の孤独死が何件もあった。あつてはならないと思うが。

福祉保健課長 孤立・孤独死を防止するため、地域の見守り体制づくりに向けた取り組みをしていく。

問 要望書が出ているというのだが、当時の区長の話では「要望書は町が持つてきて、サインをして欲しいということ。土木委員長の名前も一緒に書いた。だから判が押してない。今、この道路には反対である」とのこと。これが要望書として通るのか。

町長 その辺の事情は分からないが、歴代区長から要望書をいただいているのは事実である。

問 用地買収の価格だが、昭和通りに面した梅畑より奥のほうが高いのは本当か

建設課長 1平方m当たり1、700円ほど高い。

問 増穂商業高校の存続は

答 PTAや同窓会と連動対応する

長澤 芳文 議員



問 議会でも増穂商業高校存続の特別委員会を設置して検討を始めた。町長の考えは。

町長 現時点では、県から何ら具体的な方針が示されていないので、言及できない。
問 増穂商業高校を既存の県立高校として存続させるのではなく、無試験で入学させて、単位が取れたら卒業できたり、不登校の生徒を受け入れられる特色ある学校として創設できないか。教育特区を取るための研究努力をして欲しいが。

町長 特色ある制度の導入

で高校を創設するアイデアは大変豊かな発想と考える。しかし、本町の存続についての考えは、県下唯一の県立商業高校としての存続を考えている。

問 長野県川上村はレタス生産出荷量が日本一。農家の1戸当たり収入は年間3千万円と聞く。若者のUターンが相次いでいるのが、人

口減少にストップをかけている。増穂商業高校の生徒を増やすことも人口減少に歯止めをかける一つの方法になると思うが、どのように考えるか。

町長 増高が魅力ある学校として存続することは、地域の活力にもつながる一つの方策と期待している。今後も子育て支援をはじめ、



特色ある学校として創設を期待したい増穂商業高校

医療、教育など、いろいろな施策を充実することで定住人口の増加を図っていきたい。

国際交流の進捗状況は

問 6月に小室のゆずをアメリカ・オハイオ州シドニー市に植えたらどうかと提案したが、その後の進捗状況は。

国際化を目的にした奨学金を

問 国際化を目的とした奨学金を子どもたちに出し、科学・農業分野などで成功を収めさせたいが。

町長 世界で羽ばたき、地域に戻って来てくれること、地域で世界的に活躍している企業からの要請があれば、町として検討したい。

速報 10月15日 臨時議会 西小閉校決定！

10月7日 臨時議会 請願審査結果をめぐって異例の討論 増穂西小学校の存続を求める請願を不採択！

～議会は増穂小学校への統合で意思を決定～

9月定例議会に提出されていた「増穂西小学校存続延長に関する請願」の委員会審査結果（不採択）を10月7日の臨時議会で討論採決し、議決した。

この請願の内容は、昨年特別委員会を設置し議論してきた経緯もあり、教育厚生常任委員会では、閉会中も慎重に審議を行った。臨時会を開催したのは来年度の学校編成を考えると1日も早くする必要があったからである。

〔請願内容〕

増穂西小学校の存続条件である1年の猶予期間を5年に延長すること。

〔委員会審査結果と内容〕

・不採択

昨年町が示した存続条件（通学区区域内において教育委員会

が策定した学校規模適正化基本方針を満たすこと）を基準に調査を行ったが、9月末時点においても要件を満たす状況にはない。また、過小規模校による少人数教育については教育委員会の基本方針を尊重すべきと意見集約した。

委員会審査報告に対する意見

反対意見

- ・閉校することは大きな過ちである。ここで学びたい人を排除してよいのか。
- ・存続のため定住者を迎える活動をしている。時すでにおそしの結論を出すべきではない。
- ・人口増の観点からも残すべきである。

賛成意見

- ・2年前からの課題であり、条件が満たされなければ仕方ない。異例の慎重審議の結果を支持する。
- ・地域に根ざした学校は残したいが、子どものことを考えると存続とは簡単にいえない。
- ・1人2人の子どもが通う状況が続くことは良くない。同級生が必要である。

〔賛成者〕

小林有紀子、深澤公雄、青柳光仁、秋山 勇、長澤芳文、鮫田洋平、長澤 健、秋山 貢、齊藤欽也、井上光三、小林 進

〔反対者〕

川口正満、堀内春美、市川淳子、神田 智

議会のおもな活動日誌

7月 1日	広報モニター委嘱式
2日	鮫沢小中学校プール竣工式
4日	広報常任委員会
8日	道の駅富士川竣工式
9日	総務常任委員会、広報常任委員会 議会研修会
25日	議会運営委員会、全員協議会、教育厚生常任委員会
8月 8日	議会運営委員会、全員協議会
19日	富士川町議会議員行政視察研修(20日まで)
21日	教育厚生常任委員会
22日	議会運営委員会、全員協議会 リニア対策特別委員会、議会改革特別委員会、 増穂商業高校の存続を考える特別委員会、 政務活動費学習会、広報常任委員会
25日	議会運営委員会
29日	教育厚生常任委員会
9月 2日	全員協議会

行政視察研修

実施日 平成26年8月19日～20日
研修場所 神奈川県二宮町

二宮町は公共施設課を設置し、公共施設白書・公共施設再配置に関する基本方針を策定している。

計画策定の課題やポイント、更には議会基本条例策定、政務活動費について研修を行い、大変参考になった。



あやめコーラス

昭和63年PTAコーラスOG有志で創部され、当時は混合合唱「町民コーラス」としてスタートしました。現在は、「ますほあやめコーラス」と改名し、町文化協会、寺小屋学級に所属し活動しています。年齢層も高くなりつつありますが、声は若さを保つようと、指導者は厳しさの中にもユーモアも交えながら、パートの持ち味を発揮できるよう指導してくれます。また、ハーモニーを創り出しながら癒やしの空間も楽しみ、年3回のコンサート、特に11月の県ママさんコーラス大会と山梨ときめきコンサートの合同演奏会には、良い結果が出せるように練習に励んでいます。

10年ほど前「由紀さおり童謡唱歌コンサート」の誘いを受け共演したのがきっかけで、これまで地元で童謡唱歌を歌いたい夢を持ち続けていたのが実現しました。今年6月、会場いっぱいのお客さまを迎えて私たちのコーラスを聞いていただき、その後みんなで歌ったり、笑ったり、最後の抽選会も盛り上がり楽しい時間を過ごしていただきました。歌いだすとみんなが笑顔になり、心和むひと時です。童謡唱歌はいつでもどこでも歌える歌。ずっと歌い続けていけるようにと思うこのごろです。

代表 深澤道子

夢に向かって...



練習の成果を発揮したコンサート

団員の声

6月に開催されたミニコンサート「みんなでうたいましょう」を聴き、美しいハーモニーにすっかり魅せられて、その日のうちに入部させていただきました。初めは不安もありましたが、今では練習日が待ち遠しく、先輩の足を引っ張らないように、1日も早くしっかり覚えようと頑張っています。

新部員 石沢 泉

今私は風の中において青い空と話をしたよ～続く～。これは「BELIEVE」等で有名な杉本竜一様の作詞作曲「FRIENDS」です。今夏も「チームまでい山梨」の19人が福島飯館村の皆さまと一緒に歌い、涙の再会と別れをしてきた曲です。本コーラス部でも目下練習中です。今後、願わくは杉本様から校歌としてプレゼントされた「県立かえで支援学校」の皆さまと、歌の交流ができたと思っています。ソプラノリーダー 宮澤三重子

議会クイズ

- 問題1. 25年度の一般会計の決算額は。
- 問題2. 有害鳥獣駆除のサルの報償金は。
- 問題3. 町内の空き家総数は。

《景品》抽選で3名の方に図書券千円分を差し上げます。
 《応募要領》必要事項を記入の上、ハガキにて応募ください。

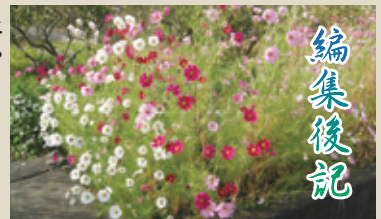
・答え ・郵便番号 ・住所 ・氏名
 ・年齢 ・電話番号 ・議会だよりの感想

《宛て先》〒400-0592 富士川町天神中條1134
 富士川町議会事務局 行
 《締め切り》平成26年11月末日(当日消印有効)
 《当選者の発表》商品の発送をもって当選と代えさせていただきます。

前回の答え

- (1) 特別委員会を4つ設置 (2) 6月8日に休日議会を開催。
- (3) 臨時会で可決されたのはプレミアム商品券補助金

編集後記



ます。さて、9月議会も終わりで、議会だより18号をお手元にお届けします。今、町で、議会で何を議論しているのかを知っていただき、議会に目を向けてほしいと思います。(堀内春美)

り、今夏は異常気象により、日本列島の各地が被災に見舞われ、被害が甚大です。富士川町では被害があまりありません。ごりませんでしたが、人今一度、自分たちが住んでいる地域を見直して、いゆる地味を準備し、災害に備えておきましょう。形を理解しておくと、お近くのと、自助・共助と隣り近所との交流を深め、お近くのと、自助・共助

広報 常任委員会

- 委員長 飯田 洋平 副委員長 堀内 春美
 委員 斉藤 欽也・川口 正満 深澤 公雄・小林有紀子

発行責任者/齊藤正行
 発行/山梨県富士川町議会
 編集/議会広報常任委員会

〒400-0592 山梨県南巨摩郡富士川町天神中條1134
 TEL/0556-22-1111 FAX/0556-22-3177